

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
(H30-がん対策—一般-001)分担研究報告書

思春期・若年成人(AYA)世代がん患者の包括的ケア提供体制の構築に関する研究

分担研究課題：AYA 支援チームのモデル作成に関する研究

研究分担者 石田也寸志 愛媛県立中央病院小児医療センター長

研究要旨 本分担研究では、当院 AYA がん患者の実態を検討し、AYA 支援チームのモデル作成を試みることを目的としている。カルテ調査の結果、当院でも毎年 60-100 名の AYA 世代がん患者が入院治療されており、これまで支援が十分されていない実態が浮き彫りになった。院内職員への啓発と共に、院内リソースのみでは AYA がん患者への対応は困難なものもあることから地域ネットワークを形成することが不可欠と考えられた。今後当院 AYA がん患者のニーズ把握に努め、院内のリソースの活用を図ると共に、県内でのネットワーク形成が必要である。

共同研究者（50 音順）

中瀬浩一（愛媛県立中央病院血液腫瘍科）

徳田桐子（同小児科）

武田千津（同がん患者支援）

山下広恵（同外来化学療法室）

青儀健二郎（四国がんセンター乳腺外科）

A.研究目的

がん診療拠点病院の整備要綱の「思春期と若年成人（Adolescent and Young Adult; AYA）世代）にあるがん患者については治療、就学、就労、生殖機能等に関する状況や希望について確認し、必要に応じて、対応できる医療機関やがん相談支援センターに紹介すること。」に関して、当院の実態を検討し、AYA 支援チームのモデル作成を試みる。

B.研究方法

1. 院内に AYA 世代がん患者の支援ワーキンググループ（WG）を結成して AYA 世代がん患者の実態を調査する。
2. 当院の AYA 世代がんの問題点を調査するためスクリーニングシートを作成する。
3. 院内職員向けに AYA 世代がんの問題に関する啓発活動を行う。

4. 当院を含む愛媛県内のネットワーク形成を試みる。

C.研究結果

1. 2018 年度内に 3 回 WG を開催した。当院の AYA 世代患者数について調査した。

・病歴に依頼し、2018 年 1 月～12 月に病名開始日の AYA 世代がん患者数を調査。

・患者数は 160 名、疑いを除外すると 102 名、平均年齢は 32.4 歳。

・診療科別では、血液内科・乳腺内分泌外科が 17 人、脳外科 13 人、婦人科 12 人、消化器外科 10 人、その他であった。

・年齢は 35～39 歳が多く 48 人（47%）であり、患者の子供への告知も問題であった。

2. 国立がん研究センターのスクリーニングシートを元に、当院の緩和ケアチームで独自のシートを作成しており、今後予備調査を行う。

3. 啓発活動：地域連携懇話会とキャンサーボードで AYA がんの問題点を取り上げた。また WG メンバーに『妊孕性温存ガイドライン』と『AYA 世代がんサポートガイド』を配布した。

4. 四国がんセンター主催で 2019 年 1 月 19 日に ANA クラウンプラザホテル松山『AYA 世

代対応ネットワーク・妊孕性ネットワークセミナー』開催された。

D. 考察

当院でも毎年60-100名のAYA世代がん患者が入院治療されており、これまでその支援が十分されていない実態が浮き彫りになった。厚労省の研究で明らかにされたAYAがん患者のニーズには、医師以外の職域の理解と連携が必要となるものも多く、院内リソースのみでの対応は困難なものもあることが再認識され、地域ネットワークを形成することが不可欠と考えられた。

E. 結論

当院のAYAがん患者の実態把握に努め、院内のリソースの活用を図ると共に、県内でのネットワーク形成が不可欠である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Ishida Y, Maeda M, Adachi S, et al Secondary bone/soft tissue sarcoma in childhood cancer survivors: a nationwide hospital-based case-series study in Japan. *Jpn J Clin Oncol.* 48・806-814・2018
2. Ishida Y, Maeda M, Adachi S, et al Secondary cancer after a childhood cancer diagnosis: viewpoints considering primary cancer. *Int J Clin Oncol.* 23・1178-1188・2018
3. Ishida Y, Tezuka M, Hayashi M, Inoue T Japanese childhood cancer survivors' readiness for care as adults: a cross-sectional survey using the Transition Scales. *Psychooncology*, 26 (7)・1019-1026・2018
4. Imamura T, Taga T, Takagi M, . . . , Ishida Y Nationwide survey of therapy-related leukemia in childhood in Japan. *Int J Hematol.* 108・91-97.・2018
5. Sato I, Higuchi A, Yanagisawa T, . . . , Ishida Y, K Kamibeppu : Employment status and termination among survivors of pediatric brain tumors: a cross-sectional survey. *Int J Clin Oncol.* 23・801-811・2018
6. Sekiguchi K, Akahane K, Ogita M, . . . , Ishida Y, et al Efficacy of heparinoid moisturizer as a prophylactic agent for radiation dermatitis

following radiotherapy after breast-conserving surgery: a randomized controlled trial. *Jpn J Clin Oncol.* 48・450-457・2018

7. Emily S. Tonorezos, Barnea Dana, Cohn R, Cypriano M, Fresneau B, Haupt R, Hjorth L, Ishida Y, Kruseova, J., Kuehni CE, Langer T, Nathan P, Skeen J, Skinner R, Tacylidiz N, van den Heuvel-Eibrink MM, Winther JF, Hudson MM., Kevin C. Oeffinger Models of Care for Childhood Cancer Survivors from Across the Globe: Advancing Survivorship Care in the Next Decade. *J Clin Oncol.* 36・2223-2230・2018
8. Urayama, K, Takagi, M, Kawaguchi, T, Matsuo, K, . . . , Yasushi Ishida, Akira Ohara, Shuki Mizutani, Fumihiko Matsuda, and Atsushi Manabe: Regional evaluation of childhood acute lymphoblastic leukemia genetic susceptibility loci among Japanese. *Scientific Reports.* 8・789・2018
9. Kozue Kuwabara, Kawarai T, Ishida Y, Miyamoto R, Oki R, Orlacchio A, Nomura Y, Fukuda M, Ishii E, Shintaku H, Kaji RA novel compound heterozygous TH mutation in a Japanese case of dopa-responsive dystonia with mild clinical course Parkinsonism and Related Disorders 46・87-89・2018
10. 石田也寸志, 前田美穂, 岡村 純, 他小児がん診断後の二次性甲状腺がん: 15 病院のケースシリーズ研究 *日本小児血液・がん学会雑誌* 55・261-268・2018
11. 石田也寸志, 佐藤伊織, 井上雅美, 他本邦の自家/同種造血幹細胞移植後長期生存小児患者における Quality of Life に関する横断研究. *日本造血細胞移植学会雑誌* 7(3)・107-112・2018
12. 森美智子, 石田也寸志, 白畑範子, 奥山朝子 小児がんを含むがん診療に関する Nurse Practitioner (NP) の教育到達目標—日本の医師・看護師と米国 NP との比較—. *日本小児血液・がん学会雑誌* 55・187-193・2018
13. 入江亘, 長谷川大輔, 神谷尚宏, 吉川久美子, 永瀬恭子, 関富晶子, 天野こころ, 石井里奈, 芹澤裕子, 坂本代喜江, 大野尚子, 菅家美和, 田村妙子, 真部淳, 石田也寸志, 平田美佳, 細谷亮太 小児病棟に入院する小児がんの子どもの生活に対する家族の意識調査. *日本小児血液・がん学会雑誌* 55・7-14・2018
14. 石田也寸志: 小児がん経験者の長期フォローアップに関する問題点. *日本小児血液・がん学会雑誌* 55・141-147・2018
15. 石田也寸志: 小児、若年成人世代の骨・軟部肉腫の晩期合併症. *日本整形外科学会雑誌*. (印刷中) (2018)
16. 石田也寸志: 小児がん経験者の長期フォローアップにおいて看護師に期待する役割. 小

児がん看護. 13・85-92・2018

17. 石田也寸志:小児造血器腫瘍の長期ケア. 腫瘍内科. 22 (6)・624-631・2018
18. 徳田桐子、石田也寸志:ヘルスケアプロバイダのためのがん・生殖医療。第2章 がん治療が生殖機能に及ぼす影響 【疾患別に学ぼう!】 7「悪性リンパ腫」(印刷中)(2018)

2. 学会発表

1. Ishida Y, Maeda M, Adachi S, et al (2018) Secondary cancer after a childhood cancer diagnosis: Viewpoints considering primary cancer. The 50th congress of the international society of paediatric oncology (SIOP), 11月、Kyoto
2. 石田也寸志 (2018) 小児・AYA がん経験者の長期フォローアップに関する問題点 Some important issues of long-term follow-up for childhood/AYA cancer survivors. 第16回日本臨床腫瘍学会シンポジウム、7月、神戸
3. 石田也寸志 (2018) 小児・若年成人世代の骨・軟部肉腫の晩期合併症. 第51回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会教育講演、7月、静岡
4. Yasushi Ishida, Miho Maeda, Souichi Adachi, et

al (2018) Secondary bone/soft tissue sarcoma in childhood cancer survivors: A nationwide hospital based case-series study in Japan. 第56回日本癌治療学会学術集会、10月、横浜

5. 石田也寸志、佐藤伊織、井上雅美、早川晶、塩原正明、佐藤篤、上別府圭子、熱田由子、山下卓也、谷口修一(2018) 本邦の自家/同種造血細胞移植後長期生存小児患者における Quality of Life に関する横断研究. 第40回日本造血細胞移植学会総会、2月、札幌
6. 石田也寸志、前田美穂、岡村純、川口浩史、佐藤真穂、徳山美香、清谷知賀子、堀浩樹 8、小林良二、吉永信治、後藤裕明、藤本純一郎、黒田達夫 (2018) 小児がん診断後の二次性甲状腺がん:15病院のケースシリーズ研究. 第60回日本小児血液がん学会、11月、京都

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得: 該当なし
2. 実用新案登録: 該当なし
3. その他: 該当なし